



えこようび

エコギャラリー新宿 (新宿区立環境学習情報センター・区民ギャラリー)

開館時間：10:00～21:00 (区民ギャラリーは、10:00～18:00)

休館日：毎月第4月曜日・年末年始(12/29～1/3) 第4月曜日が祝日の場合はその翌日

住所：〒160-0023 新宿区西新宿2-11-4 新宿中央公園内

TEL 03-3348-6277 FAX 03-3344-4434

E-mail: info@shinjuku-ecocenter.jp

WEB: <https://www.shinjuku-ecocenter.jp/>



- 徒歩 新宿駅西口より約15分
- バス 新宿駅西口ターミナル17番乗り場
 - 宿32【佼成会聖堂前】行き「十二社池の下」より徒歩1分
 - 宿33【永福町】行き「十二社池の下」より徒歩1分
 - 新宿駅西口地下広場シャトルバス乗り場
 - CH01(循環)【都庁前】行き「都庁第一本庁舎」より徒歩7分
- 地下鉄 大江戸線「都庁前」駅A5番出口より徒歩5分
丸の内線「西新宿」駅2番出口より徒歩10分

エコギャラリー新宿
まるごとエコ Book

えこようび

学校で! 地域で! 学びの場づくり



P.2-3
出前授業



こども P.4-5
エコ広場新宿



P.6-7
エコにトライ!

こども向け 環境学習の 場づくり

エコギャラリー新宿では、区内小・中学校における「出前授業」や、土日や夏休みを活用した「ワークショップ」など、学校内外でこどもたちが環境について学べる様々なプログラムを企画しています。地域団体・NPO/NGO・企業・行政など約70団体が登録する「新宿の環境学習応援団」(事務局:NPO法人新宿環境活動ネット)の講師ネットワークを活かし、毎年50~150回の環境学習の場をコーディネートしています。



毎年1月下旬に「新宿の環境学習応援団」の講師が一堂に会するイベント『まちな先生見本市』を開催し、「出前授業」や「ワークショップ」の実施につなげています。

出前授業

エコギャラリー新宿の環境学習コーディネーターが、区内小・中学校からのご要望を伺い、「新宿の環境学習応援団」に登録するゲストティーチャーの皆様と協働しながら授業づくりを行っています。2004年度から15年間で、授業回数は延べ902回、参加した児童・生徒らは49,831名を数えます。

出前授業の仕組み



～双方の立場やニーズを理解し、架け橋となって授業づくりをおこなう～



「地球温暖化について」
(講師:ダイキン工業株式会社)



「カプセルはんこエコ工作」
(講師:株式会社/バンダイ)



「身近な自然と外来種」
(講師:新宿中央公園ビオトープの会)

出前授業プログラムのご紹介

教科学習だけでなく、
総合的な学習の時間やクラブ活動など、
様々な場面で環境学習の出前授業を実施しています。

事例① 柏木小学校「神田川学習」

・2018年6月19日(火)

「神田川の生き物・水質調査」(講師:新宿区役所みどり土木部)

柏木小学校5年生の「総合的な学習の時間」の中で、新宿区を流れる「神田川」をテーマに、区民や企業の努力や浄水設備の整備などによって美しく蘇った神田川の歴史を学び、新宿区役所みどり土木部の職員さんと一緒に川に入って生き物・水質調査を体験しました。



事例② 淀橋第四小学校「服育授業」

・2019年3月1日(金)

「服育授業～綿から服ができるまで～」

(講師:株式会社三陽商会)

淀橋第四小学校4年生の「総合的な学習の時間」の中で、和綿を1年間かけて育てた後、アパレル企業である三陽商会の方を講師にお迎えし、自分たちが育てた綿がどのようにして服になるのか学び、製造プロセスの中で発生した残布を使ったアップサイクル工作を体験しました。



事例③ 四谷第六小学校「科学クラブ」

・2018年10月19日(金)

「エコと太陽光発電教室」

(講師:パナソニック株式会社 ライフソリューションズ社)

・2018年10月26日(金)

「くらしに役立つエネルギーの不思議」(講師:電気理科クラブ)

・2018年11月9日(金)

「リニアモーター模型の電気工作」

(講師:NPO法人コアネット)

四谷第六小学校の科学クラブに参加する4~6年生を対象に、「エネルギー」をテーマとした3回連続講座を企画しました。社会の第一線で活躍している企業や研究者の方々を講師にお迎えし、目で見ることのできないエネルギーを体感した上で、実験や工作などを通じて自分たちの身近な暮らしとのつながりを学びました。



こどもエコクラブ「こどもエコ広場新宿」



『こどもエコクラブ』とは

幼児（3歳）から高校生まで、誰でも参加できる「環境」をテーマにしたクラブ活動です。こどもたちが人と環境の関わりについて理解を深め、自然を大切に思う心や環境問題の解決に自ら考え行動する力を育成し、地域の環境保全活動の環を広げることを目的として、各地で活動の輪が広がっています。2017年度時点で、全国で1,852クラブ、101,657名のメンバーが活動しています。



『こどもエコ広場新宿』とは

エコギャラリー新宿を拠点に活動している、区内の小学生による『こどもエコクラブ』です。2005年に発足して以来、毎月1回、様々な専門家を講師としてお招きしながら、実験や工作、調理などの体験を通じて楽しみながら環境について学んでいます。2005年度からの14年間で、活動回数は延べ203回、参加した児童らは4,893名を数えます。

クラブの特徴



特徴
①

400名以上のメンバー
2019年度は、小学1～6年生まで423名が、地域・学校・学年などの枠を越えて活動しました！



特徴
②

様々なテーマの活動
「エネルギー」「3R」「自然」「食」など、多様な視点で環境を捉えて活動しています！



特徴
③

サポーターチーム
OB／OGの中高生やインターンの大学生などでチームを作り、企画・運営しています！

これまでの活動例



「探してナゾ解く！木のひみつ」
（講師：セルズ環境教育デザイン研究所）



「みつばちキャンドルづくり」
（講師：キッチンの科学プロジェクト）



「ホンモノの手作りチョコレートづくり」
（講師：NPO法人APLA）



「リサイクルガラスアート体験」
（講師：日本フォトガラスアート協会）

全国フェスティバルでの活躍

年1回、全国の「こどもエコクラブ」メンバーや関係者が集う場として『全国フェスティバル』が開催されています。各都道府県の代表クラブが参加し、お互いの活動を紹介し合ったり、企業の特設ブースを見学したりして、全国の仲間たちと一緒に学び交流します。『こどもエコ広場新宿』も、東京都代表クラブとしてこれまで4回（2012年度、14年度、16年度、17年度）参加し、活躍しています。



クラブ卒業生の声

『こどもエコ広場新宿』は、卒業したOB／OGの中高生がクラブに残って大学生のインターン生らとともに運営チームを作り、スタッフとして活動を支援しています。中学生スタッフの寺内智希さんと林美恵さんに、小学生だった当時の思い出や現在の役割、やりがいなどについて伺いました。



参加のきっかけ

- 寺内：**小学1年生の時に、学校から配られたチラシを見た母に勧められたことがきっかけで参加し、それから5年間くらい通い続けました。学校とは違う空気が新鮮で、学年を超えて縦のつながりが強いことが魅力の一つでした。
- 林：**小学3年生から入りました。小学生の頃は何でも興味を持ってやってみようという時期でしたし、毎月の講座が楽しく通っていました。学校や学年に関係ない、自由な交流ができる場所でした。

中学生スタッフになったわけ

- 寺内：**小学生からの延長です。自分が小学生として活動していた時も、卒業した中高生の方が活動をまとめていたので、その流れで……。実際に自分がスタッフの立場でやってみると、参加者の頃とは違って難しいところもあるけど楽しいです。
- 林：**私も、卒業してもスタッフとして残りたいという想いがあったので。今は参加者からスタッフへと立場が変化したので、小学生が活動しやすいように、活動への参加を促す役目を担っていきなりたいと思っています。

スタッフとしてクラブに携わってみて

- 林：**私はまだ小学生と年齢が近いので、手本を見せる立場であることを意識しつつ、壁を作らず仲良くなりたいと思っています。自分が小学生だった頃は理解できなかった講座も、今では内容が分かるようになってきて、一緒に楽しんでいます。運営チームでは、インターンの大学生や意識の高い大人のみさんと関わりが持てて、刺激になっています。
- 寺内：**こどもたちに楽しんでもらうために、いかに距離感を近く保つかを大切にしています。はじめは緊張していた子でも、活動の終わりにどんな形でも良いので会話ができるようになれば、自分としては成功かなと思っています。また、先生のような目線で物事を見られるようになって、楽しいです。自分にとって『こどもエコ広場新宿』は第2の学校というか、心の拠り所のような場所です。

【インタビュー文：金子 伊吹（中央大学2年、2019年度インターン生）】



中学生スタッフとして活動する林美恵さん



小学生の活動をサポートする寺内智希さん



スタッフとしての活躍が認められ、『新宿エコワン・グランプリ』優秀賞を受賞！

夏休みこどもエコ講座『エコにトライ!』



夏休みこどもエコ講座『エコにトライ!』とは

夏休みシーズンに、自由研究や「みどりの小道」環境日記のテーマ探しのきっかけにしてもらうことを目的として、企業や団体など様々な講師の方にご協力いただきながら、小学生向けのエコワークショップを実施しています。2005年度からの14年間で、講座回数は延べ112回、参加した児童らは5,330名を数えます。

エコギャラリー新宿で、エコワークショップに参加しよう!

こどもエコクラブ『こどもエコ広場新宿』

エコギャラリー新宿を拠点に活動している、「環境」をテーマにしたクラブです。実験や工作、料理などの体験を通じて、楽しみながらエコについて学んでいます。メンバーは通年募集しています!

【募集時期】 通年
【実施期間】 毎月1回程度(土日など)
【対象】 区内在住・在学の小学生

夏休みこどもエコ講座『エコにトライ!』

夏休みシーズンに実施している、小学生向けのエコワークショップです。自由研究や「みどりの小道」環境日記のテーマ探しのきっかけとして、ぜひご参加ください!

【募集時期】 6月下旬頃～
【実施期間】 夏休み(7月下旬～8月下旬)
【対象】 区内在住・在学の小学生

※各ワークショップの詳細については、環境学習情報センターまでお問い合わせください。

これまでの講座例

食

「キッズ和食育」
(講師：新宿調理師専門学校)

調理師を目指す学生のみなさんと一緒に、プロ仕様の調理場で、エコな和食づくりを体験しました。

3R

「ペットボトル万華鏡づくり」
(講師：NPO 法人コアネット)

飲み終わったペットボトルを活用し、光の性質を学んで、不思議な模様の万華鏡づくりに挑戦しました。

エネルギー

「LEDランプをつくろう!」
(講師：パナソニック株式会社 ライフソリューションズ社)

省エネに貢献するLEDの仕組みを学び、オリジナルLEDランプをつくって“あかりのエコ”を考えました。

ライフスタイル

「夏に涼しいエコな家を設計しよう!」
(講師：大和ハウス工業株式会社)

暑い夏を涼しく過ごすためのうちのエコな工夫を学び、それぞれが工夫を凝らした家模型づくりにチャレンジしました。

エコギャラリー新宿とは

都会の森「新宿中央公園」にある「エコギャラリー新宿」は、1階に文化活動の発表の場「区民ギャラリー」、2階に環境情報・活動の拠点「環境学習情報センター」を併せた新宿区の複合施設です。

気候変動対策、資源の効率的な活用、自然共生などの環境課題はもちろん、環境・経済・社会・文化を統合した「文化の香り高い持続可能な都市 新宿」の実現に向け、区民・NPO・事業者・行政・教育機関をつなぐ交流拠点として、企画・運営の段階からマルチセクターの参画も得ながら運営しています。

※2004年4月より、公募による選定を経て、NPO法人新宿環境活動ネットが指定管理者として管理運営しています。

エコギャラリー新宿

イメージキャラクター **エコ王子**

名前：エコ王子
出身：エコギャラリー新宿
特技：空を飛ぶこと
エコ上手(日々勉強中)
マイブーム：エコバック
木のペンダントづくり